

学位の
単位の
課程を
後期学
院博士
院博士
曹洞宗
宗学研
究所を
取得し
て愛知
学院大
に奉職
。同大
の幹事
も務め
る

「国際化を
「世界禅セ
ました。欧
下など世界
アセルハイ
として2度
伝えに行っ
は修行を志
を入れてい
てきているア
身の女性は
ともに修行
女性は得度
ブイレンツ
如寺を開い
た大学に留
ンチンで高
が得度して

「禅師の精神
国際化を目
禪師がなさ
、老師の世
りますよ」

超高齢社会—VR(バーチャルリアリティ)で認知症を体験

超高齢社会を迎え、認知症人口が2025年には約700万人とも推計される。社会的な課題となるなか、VR(バーチャルリアリティ)で認知症を体験的に学ぶセミナーが2月19日、千葉県松戸市の法要館八柱霊園前で行われた。僧侶、介護・医療関係者らが参加し、認知症と共生する社会における理解と支援の在り方を学んだ。

突如ビルの屋上に立つ…

セミナーは超宗派の有志が声を聞こえてく志僧侶や神職からなる(一社)「恩送り」と、REAI Partners(株)のグループ、(株)シルバードの石田香澄さんを講師に3つのVRプログラムを体験した。

一つ目は認知症の中核症状である「空間失認」を体験するプログラム。VRゴーグルを付けると、突如ビルの屋上に立っ



VRで認知症の症状を体験的に学んだ

症状の軽減も

このケースで無理やり車から降ろそうとした場合はどうなるのか。石田さんは患者の中に不信感が生まれ、介護側も症状の悪化と評価してしまうと指摘。認知症患者の感情や見える世界を知り、接し方を変えていければ「うつ状態や怒りっぽくなる」といった認知症の行動・心理症状も軽減できるのではないかと解説した。

若年性認知症の男性の体験をもとにした「ここではですか編」、人物や動物の幻視がみえる「レヒー小体病幻視編」もVRで体験。症状を理解することの重要性や、どんなサポートが必要かを示唆する内容となっている。石田さんは「町中に小さい手助けが溢れていることが大切だ」と社

変わる病状理解 小さな手助けを社会に



恩送りの新田代表

会の課題も示した。参加した(株)川本商店の川本雅由さんは「知識として学んだことはあったが体験は全く、最初のVRでも後ろから声を掛けられるだけで怖かったり、些細なことが気になると実感できた」と収穫を口にした。日本看取り士会の中屋敷妙子さんは、「レヒー小体病の幻視の話は聴いたこともあるが、こんな風に見えるのか」と、体験できたのが貴重」と理解を深めた。恩送りの会員の三上蓮浄さん(東京都板橋区・真言宗慈慧院)は社会福祉に携わったこともあるが「体験すると違いました。(認知症だから)仕方ないではなく、認識の仕方でも変わる」と共生社会へのヒントを見出した。

困っている声から

恩送りの主たる活動場である法要館本堂には自治体等からの要請で引き取り手のない遺骨も安置する。年間100柱ほどを預かり、年に2〜3人の引き取り手が現れることもあるため5年間は無償で預かっている。このほか、子ども食堂や障がい者支援など幅広い取り組みで、支えあいの共生社会を目指している。

新田代表は「活動を通じて(介護や認知症についての)困っている、という声を聴いてきた」とをきっかけに認知症支援に着手。次世代企業とも積極的に連携を図り、「お寺はつながりを生む場所。ITの力も使ってご縁をつないでいきたい」と展望した。(柳井)

(一社)恩送りがIT企業と連携

京仏壇・仏具展開催 WEBで、月末まで

京都府仏具協同組合

京都府内の仏壇・仏具の小売店・製造師でつくる京都府仏具協同組合(京都市下京区)は、組合のホームページ(日P)上で「第56回京仏壇・仏具展」を開催する。

掲載商品は、京都の職人たちが伝統技法に基づいて製作した国の伝統的工芸品「京仏壇・京仏具」、あるいは京都の伝統的工芸品「京仏壇・京仏具」のデザインを凝らした現代のライフスタイルを意識したもので、新技法を融合させて製作

・京仏具展 伝承の技と心 WEB展示会2021「1」を開き、寺院や一般家庭などのエンドユーザー向けに京仏壇・京仏具をアピールしている。

京仏壇・京仏具展は毎年2月に催されるが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、仏具は寺院場での開催が中止となり、WEB展示会はその代替措置。31日まで日Pに掲載する。

掲載商品は、京都の職人たちが伝統技法に基づいて製作した国の伝統的工芸品「京仏壇・京仏具」、あるいは京都の伝統的工芸品「京仏壇・京仏具」のデザインを凝らした現代のライフスタイルを意識したもので、新技法を融合させて製作



WEB展示会は、写真だけでなく他産地や海外製品との違いを説明していくとの懸念もある一方、田中雅一理事長は「対面重視の販売姿勢に変わりはなく、これを契機に加盟店の間でインターネットの活用が広がるかもしれない。京仏壇・京仏具のアピールが最優先で、まずは何よりも見ていただくことが大切」と抱負を語る。

WEB展示会は、写真だけでなく他産地や海外製品との違いを説明していくとの懸念もある一方、田中雅一理事長は「対面重視の販売姿勢に変わりはなく、これを契機に加盟店の間でインターネットの活用が広がるかもしれない。京仏壇・京仏具のアピールが最優先で、まずは何よりも見ていただくことが大切」と抱負を語る。

一般社団法人 恩送り



遠隔での参列臨場感 人影映せる「窓」提案

遠方にいる人がまるで同じ空間にいるように自然なコミュニケーションを可能にする。そのよ

「窓」は、離れた暮らしを共有する高齢者と家族の快適なコミュニケーションのため、テレプレゼンスシステムによって「近くに親しい

「窓」は電機メーカー大手ソニーのグループ企業が開発。ディスプレイを通して遠方にいる人とリアルタイムで交流できる。「ズーム」などのオンライン会議システムと異なり、生活音などを意図的に拾うことで、すぐ隣にいるような臨場感を演出する。

会話する必要がないときは音を遮断し、ディスプレイをほかすこともできる。解像度が低くても人影をおおよその動きを見られる。開発を手掛けたソニーの阪井祐氏によると「近くに親しい

情報 アラカルト

こと、遠方の人でも対面しているような感覚でお参りができるのでは」と話した。

問い合わせは恩送りII 電話047(703)9399。

太陽発

小林